

## “はたらく”を助ける デジタルグッズ

### テレワークをもっと快適に 自宅に仕事スペースを 作れば集中力アップ



自宅でテレワークに取り組んでいて、どうも集中しづらいと感じたことはないだろうか。家族の声や家事の音など生活音が気になったり、テレビや漫画など気になるものがあるにつれ、ついそちらに目がいってしまったりと、自宅には集中を妨げる要素がたくさんある。テレワークの効率を高めるために、自宅内に集中できる作業スペースを確保しよう。

最もシンプルな方法は、作業環境をパーティションで囲んでしまう方法だ。キングジムの「パーソナルパーティション」は軽くて丈夫な 5 枚のパネルをつなげたデザインで、ノートパソコンの周囲などを囲んで作業スペースを作れる。自宅の食卓などに作業スペースを作りたい人向きで、使わないときは畳んで収納できる。コンパクトで持ち運びやすいことを生かして、コワーキングスペースやオフィスに持ち込んで使うこともできる。幅は約 450mm ~ 600mm の間で調整でき、高さの違いで 2 種類ある。



キングジムの「パーソナルパーティション」。パネルを 5 枚つなげた構造で倒れにくく、動いてズレないように滑り止めのシリコンゴムがついている。中央下部には AC アダプターなどのケーブルを通す溝がある（写真提供/キングジム）



【写真左】コンパクトタイプは高さ 310mm で重さは 615g。折り畳むと A4 ファイルサイズになり、ビジネスバッグなどに入れて持ち運べる（写真提供/キングジム）

【写真右】ハイタイプは高さ 450mm で重さは 855g。高い方が、周囲の目線を遮りやすい（写真提供/キングジム）

## “はたらく”を助けるデジタルグッズ

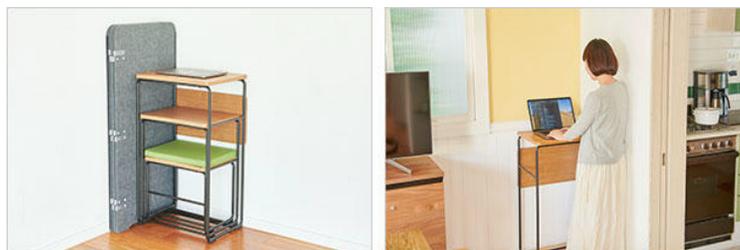
本格的な作業スペースが欲しいが、使わないときは邪魔にならないように片付けたい。パーティションとサイズの違う3種類デスクを組み合わせて作業スペースを作れるイトーキの「UBIQ」(ユビック)は、そんなニーズに応えられるシステムチックな製品だ。

フルセットを揃えて組み立てれば机と椅子をパーティションで囲った本格的な作業スペースになり、使わないときはパーティションを折り畳み、デスクをスタックしてコンパクトに片付けられる。高さのあるデスクだけを使って立席スペースを作るなど、組み合わせ方は自由自在だ。

パーティションはパネルを5枚つなげた形で、高さは1178mm。デスクはS、M、Lの3サイズあり、それぞれ高さは380mm、650mm、900mm。一番低いデスクにはクッションが付属して椅子になる。パーティションとデスクは個別に販売されていて、デスクは3種類のセット、SとMのセット、Lの単品販売がある。



イトーキ「UBIQ」は、パーティションと3種類のデスクをそれぞれ購入して組み合わせて使うシステムだ。フルセットを組み合わせると本格的な作業スペースになる(写真提供/イトーキ)



【写真左】使わないときは衝立を折り畳み、デスクをスタックすることでコンパクトに収納できる(写真提供/イトーキ)

【写真右】デスクLだけを使って立って作業したり、デスクSとデスクMを使って座って作業したりと、自由に組み合わせて使える(写真提供/イトーキ)

## “はたらく”を助けるデジタルグッズ

リビングの広さに余裕があるのなら、そこに本格的な作業スペースを作ってしまう。パナソニック「KOMORU」(コモル)は、約1平米の半個室空間を作る組み立て式デスクだ。

高さ約1200mmのパーティションと、幅827mmのデスクが一体になった製品で、パーティションは机の左右どちら側でも付けられる。リビングになじみやすい木目調のデザインで、全面がフックなどをかけられる有孔ボードになっている。仕事道具や書類入れ、ヘッドホンなどをぶら下げたり、あるいは写真を飾ったりと、収納や装飾を自由にアレンジできる。仕事用スペースとして便利なのはもちろん、趣味に没頭するための空間にも使える。



パナソニック「KOMORU」(コモル)は、約1平米の半個室が作れる組み立て式デスク。シンプルでガッチリとした造りで、パーティションは左右どちら側にも付けられる。椅子は別途必要だ(写真提供/パナソニック)



【写真左】パーティションは有孔ボードになっていて、フックを取り付けているものを掛けられる。木目調のデザインで2色ある

【写真右】パーティションの高さは約1200mmで、ほぼ目線の高さだ。頭を下げれば作業に集中でき、頭を上げると部屋の中を見渡せる(写真提供/パナソニック)

**“はたらく”を助けるデジタルグッズ**

集中力を高めるには、開放的な作業スペースではなく、周囲を完全に囲ってしまうのも有効だ。ナガオカトレーディングの屋内用パーソナルテント「M302T」を使うと、自宅内にそうした環境を整えられる。

M302T は遮光性のある黒いポリエステル生地を使った四角いテントで、内部にデスクと椅子を置けば、周囲の景観をシャットアウトした作業スペースが作れる。ビデオ会議をする時に使えば、散らかった部屋を相手に見せずに済む。左右側面の2カ所にメッシュウインドウがあり、天井部分を開けることもできるので、換気や外光の取り入れもできる。使わないときは直径62cmの円盤状にまとめて付属のキャリーバッグに入れてコンパクトに収納可能だ。テレワークだけでなく、動画鑑賞やゲーム、あるいは子供の勉強するためのスペースに使ってもよさそうだ。



ナガオカトレーディングの「M302T」は、自宅内に小さい部屋を作る屋内用テントだ。遮光性のある素材でできている。使わないときは円盤状にまとめて収納できる（写真提供/ナガオカトレーディング）



【写真左】展開後のサイズは幅1300mm×高さ1600mm×奥行き1300mm。内部にデスクと椅子を置けば、周囲の景観や光をシャットアウトした作業スペースになる（写真提供/ナガオカトレーディング）

【写真右】2カ所換気ができるメッシュウインドウがある。天井部を開けて採光することも可能で、必要に応じて解放感を出すこともできる（写真提供/ナガオカトレーディング）

## “はたらく”を助けるデジタルグッズ

半個室空間では集中しづらいし、テレワークを機に自分だけの個室が欲しい。NTT 都市開発の「ウエリスカスタム OTONA 基地」は、そんな人向きのコンパクトな書斎だ。

サイズはおよそ一畳（幅 900 mm × 高さ 1800 mm × 奥行き 1800 mm）で、出入口の扉を閉じれば作業に集中しやすい個室になる。天井部分は可動式で開けられる。正面には奥行き 600 mm のデスクと棚、背面にも書棚がついていて、仕事の書類や道具などを収納できる。コンセントと LED 照明も付いているので、あとは椅子を用意すれば、コンパクトな書斎としてテレワークや趣味の作業に活用できる。再生強化紙とステンレスでできていて、断熱性や吸音性にも優れている。



NTT 都市開発の「ウエリスカスタム OTONA 基地」は、一畳サイズのコンパクトな個室タイプの製品（写真提供／NTT 都市開発）



【写真左】デスク、LED 照明、コンセント、前後に棚があり、あとは椅子があれば仕事スペースになる。天井は開閉できる（写真提供／NTT 都市開発）  
【写真右】出入口の扉を閉じれば完全に個室になる（写真提供／NTT 都市開発）

コンパクトな卓上パーティションから半個室、室内テント、コンパクトな書斎まで、作業スペースを作る方法はいろいろある。自宅の広さや用途と相談して最適なものを選びたい。自宅の中に他から区切られた仕事場を用意すれば、集中力が高まってテレワークの効率も上がるはずだ。

【湯浅英夫/IT・家電ジャーナリスト】



NTT コムウェア株式会社

URL : <https://www.nttcom.co.jp/>

WEB 掲載 : 2020.11